

人口が減少しても豊かな静岡県を 川勝知事と共に新発想でつくります！



私が初めて川勝知事にお会いしたのは平成21年6月。当時仕えていた榛葉賀津也参議院議員の政策担当秘書として川勝知事の最初の選挙を手伝った時でした。川勝知事の大変ユニークな人柄や情報発信力に触れ、「こんな人が知事になったら県議会議員として働くのも面白いかも」と思ったのが、現在、2期目の県議会議員として実際に活動しているそもそものきっかけです。

前述のように、これまでの8年近い任期の間に、私は本会議や委員会等で様々な提案や主張をし、手前味噌ながら、その多くを実現させることができました。それも、川勝知事の先見性や柔軟な発想、そして指導力によるところが大きいと考えています。



川勝知事と徹底的に議論していきます！

今後少なくとも数十年間、静岡県や日本の人口は減少し続けると共に、高齢化が進行します。また同時に、人工知能や自動車の全自動運転等、技術革新が加速度的に進み、それに伴って、生活様式や価値観、社会の仕組みそのものが大きく変わることが予想されます。

こうした革命的な変化に対応するには、従来の考え方や方法を改め、**人口減少をピンチでなくチャンスと捉えて豊かな静岡県をつくる**という新発想で、今から備えることが不可欠です。そのための活動を、引き続き、川勝知事と共に、県議会議員として全力で進めています。何卒、ご理解とご協力をよろしくお願い致します！

静岡県議会議員 すずきさとる 経歴

昭和44年10月1日	現静岡市駿河区新川生まれ
平成5年	明治学院大学国際学部卒業
平成6年4月～平成9年9月	英国留学（修士号取得）
平成10年	城南進学研究社
平成11年	国会議員政策担当秘書
平成18年	参議院議員榛葉賀津也政策担当秘書
平成21年	衆議院議員津川祥吾政策担当秘書
平成23年4月	静岡県議会議員初当選
平成27年4月	静岡県議会議員2期目当選
平成29年4月	会派ふじのくに県民クラブ政策調査会長
平成30年5月	静岡県議会危機管理くらし環境委員長



お読み下さりありがとうございます。ご意見やご質問をお寄せ下さい！

静岡県議会議員すずきさとる事務所

〒422-8041 静岡市駿河区中田 1-11-19
電話 054-281-3715 FAX 054-281-3716
E-mail : mail@suzukisatoru.net
開所時間：月～金曜日（休祝日除く）9時～15時



静岡県議会議員

ふじのくに防災士

すずきさとる



新発想でつくろう。
豊かな人口減少社会

すずきさとる新聞「すずしん」増刊号



スズキの発想と行動① 人口減少・超高齢社会を前提とした社会の仕組みづくりとまちづくり！



国や地方の将来人口推計が示すように、少なくとも、今後数十年間は静岡県そして日本の人口は減少し続けると共に、高齢化も進行します。そのため、人口減少・超高齢社会の到来に適応できる社会の仕組みづくりやまちづくりを今から進めるべきです！

- 人や環境に優しい、いつも賑わいのある、持続可能なまちづくりを推進！
- 何でも行政にお願いするのではなく、解決できることは近所や地域、民間で解決！



- 私の本会議での提案を受け、県は独自の将来人口推計を策定。その後の政策に活かされています！
- 学校を地域で支え、学校が地域活動の拠点となるコミュニティ・スクール（CS）の推進を提言！県では平成24年度まで0校だったCSが30年度には76校に増加！（駿河区では川原小学校が30年4月からCSに。地元の大里中学校で進むCS認定を目指した取り組みも引き続き応援します！）
- 今後増加する空き家や空き地を活用すると共に、通行量が減少した車道では歩道や自転車通行帯を拡幅する等により、公園や緑があふれ、歩いたり自転車で移動するのが楽しい、歩行者や高齢者に優しいまちづくりを推進！（県は31年3月までに自転車利用推進計画を策定。県議会でも自転車利用促進条例を同時期に制定します！）
- 将来にわたって持続可能な財政基盤を築くために「健全な財政の運営に関する条例」を制定します！



人口減少・高齢化対策の先進地である北海道夕張市を視察。鈴木直道市長と



歩行者や自転車に優しいまちづくりが進んでいる米国オレゴン州・ポートランド市を視察。



CSの先進校である習志野市立秋津小学校を視察。CSマイスターである岸裕司さんと



大道芸ワールドカップにボランティアとして参加。いつも賑やかなまちづくりを目指します！



スズキの発想と行動③ SHIZUOKAを世界に売り込み！交流人口を増やせ！



人口減少・高齢化が進む静岡県や日本と違い、世界では人口増加や生活水準向上が進んでいます。世界的有名な富士山があるSHIZUOKAを巨大な世界マーケットに売り込むことにより、静岡県産の農林水産品、工業製品の輸出・販売を促進すると共に、海外からの観光客、留学生をより多く誘致すべきです！

- 地域外交を推進し、企業や教育機関の海外進出、交流を応援！



- 英国留学の経験等を活かし、地域外交に積極的な川勝知事を後押しすると共に、自らシンガポール、台湾、モンゴル、中国（浙江省、香港）等との議員外交を進めました。また、シンガポールや台湾にある県事務所の強化を提案し実現！
- 静岡とシンガポールとのボーイスカウトの定期交流を実現！既に多くのスカウトが行き来しています！
- 海外留学生が減少傾向にある静岡県立大学を、事務局体制強化や財政支援拡充等により世界に誇れる大学にします。また県立高校における国際バカロレア認定等、グローバル教育を強化します！
- 挑戦する企業や個人を後押しするために「しづおか新成長産業応援条例」の制定を目指します！



シンガポールからのボーイスカウト交流団を川勝知事と共に歓迎



駿河区丸子は国産紅茶発祥の地。そこで作られる丸子紅茶を川勝知事と共に国内外にPRしていきます！



今や東大・京大レベルの秋田県・国際教養大学。同じ公立大の静岡県立大学も負けてはいられません！



シンガポールでの国際旅行フェアで法被を着て静岡観光を売り込む！



スズキの発想と行動② 次世代ファースト！子どもたち、若者たちを応援！



子どもや若者が減少しているにもかかわらず、子どもの貧困、若者の自死、学費負担の問題等、子ども、若者を巡る環境は決して良くはありません。子どもの数ばかりに囚われた大人目線の少子化対策を改め、次代を担う子どもたち、若者たち「次世代」の視点に真の意味で立った応援政策を推進すべきです！

- 子どもや若者の生活の質向上、教育環境充実等のための政策を強力に推進し、投資を惜しまない！



- 地元の小学校近くに突如移転してきた危険ドラッグ店の排除を目指し、地域の皆さんと行動。議会での質問等により県に強く働き掛けて危険ドラッグ規制条例制定を実現し、危険ドラッグ店を撲滅！
- 私の本会議質問を受け、県は「次代を担う若者たちによる県民会議（若者会議）」を設置。若者会議は2カ年に渡って議論し県への提言を取りまとめました！
- ふじのくに県民クラブの主張と川勝知事の決断により、静岡式35人学級編制が、31年度までに小・中学校で、政令市を除き完全実施！静岡市での完全実施を引き続き働き掛けます！
- ふじのくに県民クラブとして「子どもいじめ防止条例」を提案し制定！来期には「子どもの貧困対策推進条例」「しづおかの若者応援条例」の制定を目指します！



危険ドラッグ店に対し、地元自治会や県担当者の皆さんと共に販売自粛要請



仙台市にて、自死の防止や自死に対する偏見を無くす取り組みについて伺う



中学生の皆さんと意見交換。若者の考え方を積極的に取り入れていきます！



シンガポールでの活動内容について静岡地区的ボーイスカウトと共に川勝知事に報告



スズキの発想と行動④ 自然災害の危険性を重視した土地利用を推進！避難体制・復興支援策を強化！



様々な対策にもかかわらず繰り返される土砂崩れや洪水等による大規模災害。その背景には、これまで、自然災害の危険性を殆ど顧みずに住宅地等が整備されてきましたことがあります。そのため、必要な防災施設整備を進めつつ、中長期的な視点に立った、自然災害の危険性を重視した土地利用・まちづくりを推進すべきです！また、災害関連死を防ぐために、避難体制や復興支援策の強化も進めるべきです！

- 増加する空き家や空き地を活かし、自然災害の危険性が少ない地域に住宅や商業・工業施設を政策誘導！
- 高齢者や障がい者、外国人の皆さんも安心して避難できる体制を構築！



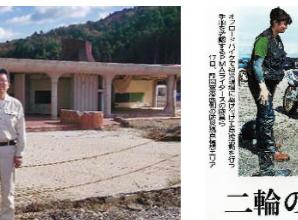
- ハザードマップ等の周知を徹底すると共に、防災型土地利用規制の導入を推進します！
- 難民キャンプ以下とも言われる日本の避難所を変えるために、世界基準である「スフィア基準」に基づく避難所が設置できるよう取り組みを進めます。また、避難所運営リーダーの育成を推進します！
- 災害ボランティア受け入れ体制の構築や医療バイク隊の創設等、迅速な救命・復興のための備えを強化します！
- 私の本会議での提案を受けて制定方針が示された公文書管理条例の実現や、浸水想定区域にある県の公文書管理施設の早期移転等により、災害にも強い公文書管理体制の実現を目指します！



危機管理くらし環境委員長として杉保聰正・危機管理監（右）らと共に県の総合防災訓練を視察



西日本豪雨で甚大な被害を受けた広島市で災害ボランティア活動



東日本大震災における津波で多くの児童と教職員が亡くなった石巻市立大川小学校にて。学んだ教訓を必ず活かします！



二輪の機動力生かす
災害時に活躍する医療バイク隊の実現目指して活動中！（平成29年9月28日静岡新聞記事）

